



## Press Information

VPR17-060

2017年8月15日(火)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

### **フォルクスワーゲングループジャパン、豊橋本社開設 25 周年 地元への恩返し活動として学生への施設見学ワークショップ開催**

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:ティル シェア、本社:愛知県豊橋市、略称:VGJ)は、1992年に豊橋市に本社を移転して以来、今年で25周年となるのを機に、地元への恩返しの活動として、豊橋市内の中高校生に対し、施設見学ワークショップを開催します。

本活動の一環として、8月22日(火)には、市内公立中学校の1年生20名を迎えます。これは豊橋市教育委員会を通じて各校から公募されたもので、当日は、埠頭の様子や、品質・装備の点検などの実地見学、海外工場での生産から国内での出荷までのプロセスを学ぶレクチャー、仕事について考えるグループディスカッションなどを行います。また、昼食は、当社社員食堂において、オリジナルレシピによる名物料理「カレーヴルスト」を提供し、食の面でもフォルクスワーゲンを体験いただきます。

この他、市内公立高校に対しても、同様のワークショップ受け入れの呼びかけをしており、希望に応じて技術体験や英語でのグループディスカッションも行います。

三河港は24年連続自動車輸入台数日本一であり、豊橋市では、自動車の輸出入を産業の柱の一つと位置付けています。当社のワークショップを通じて、将来、そうした地元産業を支える中高生に、地元の主要産業に対する理解をより深めてもらうことが期待されます。

また、フォルクスワーゲン グループ ジャパンでは、これまでも豊橋市で行われる様々な地元活性化の活動に参加してきました。今後も、豊橋市の企業市民として、地元との交流を大切にしながら事業活動を行ってまいります。